科目名 経営財務論 I (Financial Management I)										
学 年	学	科(コース)	単(位 数	必修 / 运	選択 打	受業形態	開講印	時期 :	総時間数
第4学年	経営	'情報学科	学修	1単位	必修		講義	前期	胡	45時間
担当教										
学習到達目標										
財務上の意思決定は、資金の調達・運用・配分に大別される。本講義では、その意思決定のメカニ 科目の到達 目標レベル 学習する。										
到達目標 (評価項目)		れた到達レベル 目安		.好な到達! 目安	!		の到達レベ. 目安		未到達レ 目3	₹
到達目標①		イナンスの理論 - を説明できる。		イナンスの [を概ね説!			ノスの理論 ₋ 抵説明でき		マイナンス <i>の</i> 題をほぼ説 ・	
到達目標 ②		イナンスの実務_ を説明できる。		イナンスの 見を概ね説!			ノスの実務₋ 抵説明でき		ァイナンス <i>の</i> 題をほぼ説 。	
到達目標 ③		イナンス上の問題 章で説明ができ	る。を文	イナンス上 章で説明 <i>が</i> きる。。			ノス上の問 説明が3∕	をプ	ァイナンス」 文章で説明 ない。	
学習•教育到:	達目標	(C)①	•	JABEE基準1(2) (d)-(1)					
			j	虚成 度	評 価 (%	6)				
ファイナンスの理論上の問題点を理解できる。 試験又はレポートにより評価する。						40%				
ファイナンス実務					ートにより評価する。				40%	
ファイナンス上の問題点を文章で論理的に説明できる。 試験又はレポートにより評価する。 2								20%		
評価 指標と評価割合	西方法	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ		合計
総合評価割合		40	40		20					100
知識の基本的な 【知識・記憶、理] ©	0		0					/
思考・推論・創造への 適用力【適用、分析レベル】		.] 0	0		0] /
汎用的技能 【計算力】		0	0		0] /
態度·志向性(人間力) 【 】										
総合的な学習経験と 創造的思考力【 】										V

	関連科目、教科書および補助教材				
関連科目	経済学I、財務会計論I				
教科書	「ビジネスマンのためのファイナンス入門」山沢光太郎(東洋経済新報社)				
補助教材等	プリント				

学習上の留意点

経営財務論は、数式を用いることが多いので、数列、微分積分などの必要な数学の知識は確認しておくこと。授業の時は、必ず電卓を持参すること。関数電卓ではなく、簿記用の電卓を準備すること。授業中は、寝ない。しゃべらない。メリハリが必要です。

担当教員からのメッセージ

専門科目に入ると、初めて聞く内容が増えてきて理解するのも大変になります。この講座では、教科書に出てくる難解な内容 をできるだけかみくだいて説明したり、身の回りの具体的なものに例えて説明することを心がけて授業を行う予定です。進む 進度もすこしゆっくりめに設定しています。

授業の明細							
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)				
2	O ガイダンス 1 ファイナンスの種類	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・ファイナンスの特徴	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。				
3	2 ファイナンスの基礎概念	お金の時間価値を理解できる。 ・単利と複利を理解できる。 ・機会費用を理解できる。 ・リスクとリターンについて理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。				
5							
6	3 資本調達方法と資本コスト	・資本調達に方法について説明できる。 ・資本コストの種類について説明できる。 ・加重平均資本コストが計算できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。				
			C •				
8	ф 	間試験					
	答案返却·解答解説 4 投資意思決定	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・投資決定のプロセスについて理解できる。 ・回収期間法とその問題点を理解できる。 ・正味現在価値法と問題点を理解できる。 ・内部利益率法と問題点を理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。				
11							
12							
13	5 資本構成	・資本構成と資本コストの関係を理解できる。 ・レバレッジ効果について理解できる。 ・MM理論について理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練				
14			習問題にて理解すること。				
	1						
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を説明できる。 ・全体の学習事項のまとめを説明できる。					
	総学:	45 時間					
		30 時間					
		15 時間					